

学園創立110周年記念号

明治四十年、女子教育の進展を願い、水月哲英先生により創設された本学園は百十周年という記念すべき年を迎えました。心からお祝いを申し上げます。

昨年ご報告致しましたように、紫友会では、百十周年記念事業として母校沿革を記した歴史年表のパネル及び短期大学五十周年の記念石碑を学園に寄贈致しました。

本事業に対しては、先生方をはじめ、卒業生の皆様から多くさんのご協力を賜りまして誠に有難うございました。紙面上ではございませが改めて深くお礼申し上げます。

現在、学園理事会の紛糾、混迷をご存じの方多いんじゃないかと思いますが、卒業生は大変心を痛めております。紫友会としての問題の解決に向けては、百十周年記念事業の一環として位置づけ、学園の正常化の為に力を尽くすとともに、終息の方向に向かうことを願って止みません。

紫友会は今まで通り、母校発展と正常な学園運営の為に惜しみない支援を続けていく所存です。

祝 学園創立百十周年



筑紫女学園大学同窓会
紫友会 会長
石川 昭子



題字 本学園元顧問
故 干潟 龍祥先生書



筑紫女学園大学
同窓会
紫友会事務局
〒818-0192
大宰府市石坂2丁目12-1
筑紫女学園大学内
飛翔会館2F
TEL&FAX (092-929-4603)
〔月～金 10：00～16：00〕
印刷(有)森田印刷所

縁ということ



筑紫女学園大学 名誉教授
同窓会 紫友会 元顧問
橘 英哲 先生

最初に個人的なことを記すことをお許しください。昨年末に曾孫が生まれました。生まれたばかりの赤ん坊の顔を見ながら、因果の不思議を感じ、仏教でいう縁の有り難さを感じていました。

しかし、私たちは血のつながりのなかだけで生きているわけではありません。社会という大きな縁のなかでも生きています。私にとって紫友会はその一つということが出来ます。

短大の最初の卒業生を出す時、代表の人たちと、同窓会組織の話し合いをしたことを思い出します。紫友会という名称もその話し合いのなかで決まりました。成り行き上顧問ということになり、それが長く続きましたので、私にとって紫友会は教員生活のなかで、有り難い縁の大きなひろがりとなりました。

本年は学園創立百十周年を迎えます。紫友会総会も五十回目、半世紀となるようです。この勝縁に遇うことができるのも長生きの余得でしょうか。総会で皆さまとお会いできるのを楽しみにしています。

第50回紫友会総会御案内

日時／6月18日(日) 11:00～14:30
【受付開始時間10:30～】

場所／ホテルオークラ福岡(平安の間)
福岡市博多区下川端3-2 TEL.092-262-1111

会費／5,000円 新卒会員1,000円

第一部／総会 11:00～11:30
会計報告・事業報告・その他

第二部／ジャズコンサート&お食事 11:50～14:30

MAYUMI vocal



バンドメンバー ピアノ:花田久美子 ベース:升井一朗 ドラム:原田Jinmei 唢明スチールパン:緒方稔泰(Yamori)

プロフィール/地元福岡で22歳からJazz vocalとして活動始める。シーホーク・ホテル・アンド・リゾート(ヒルトン福岡シーホークホテル)の専属ボーカリストを7年間勤める。
2012年 INPEXレーベルから自身のCD "I wish you love"をリリースし、ジャズ評論家として有名な岩波洋三氏から絶賛される。ピアニスト内田浩誠・リョオのレギュラーボーカルとしてMr. BONDIに出演。BLUENOTE FUKUOKAに3度出演。中州JAZZに4度出演。じゃすろう会主催"ザ・ジャズ・ジャズ・ジャズ・ジャンボリー2012"に出演。
2016年 トランベッター大野俊三Japan tour福岡公演ではゲストボーカルとして出演。現在、福岡市内のライブハウス "New Combo"や "Riverside"を中心に、全国各地のジャズコンサートに出演している。

●締切日(5/31)以降の申し込みおよび変更は紫友会迄
(TEL&FAX092-929-4603)
●尚、6/1以降ハガキを送付の際は62円切手をお貼り下さい。
出席申込を頂いた方で当日連絡なく欠席の場合は、恐れ入りますが後日紫友会宛に会費をお振込み下さい。

■振込先

金融機関:ゆうちょ銀行
店名:一七九(イチナナキュウ)
店番:179
預金種目:当座預金
口座番号:0044769
口座名義:筑紫女学園大学同窓会紫友会

出席予定の先生方(敬称略)

3月末現在の出席予定

学長代行 中川 正法
文学部長 時里 奉明
人間科学部長 古賀野 卓
現代社会学部長 吉野 嘉高

現職員 松下 博文
石井 康仁
S. Kumar
速水 良晃

旧教職員 名本 幹雄
松田 昌子
塚本 桂子

高山百合子 D.J.Wood
小林 知美 浅田 淳一
古田 龍輔 山之内輝美
藤原 隆信 須藤 遙子
橘 英哲 石橋美恵子
恵利 勝縁 戸丸 敦子
佐伯 蓉子 永淵 道彦

*今回当番幹事は短大30、50回生、大学文学部5、25、26回生、大学人間科学部2、3回生、大学院8,9期生です。

*当日お車でお越しの方は、ホテル駐車場をご利用ください。

紫友会事務局だより

■第49回紫友会総会報告

第49回紫友会総会は平成28年6月11日(土)筑紫女学園大学・飛翔会館に於いて盛大に開催されました。当日は、晴天に恵まれ、たくさんのお客生や同窓教員の皆様が、遠くは千葉県、神奈川県そして隣国の韓国など各地より参集頂きました。

午前中に大学行事として、「筑紫女学園短期大学 50年の集い」が同時開催だったこともあり、例年より多くの皆様にお越しいただきました。

第一部の総会では、前年度活動報告や会計報告、今年度活動計画(案)や予算(案)等が承認されました。



第49回紫友会総会



懇親会

第二部は懇親パーティ。ホテルオークラの美味しい料理をゆっくりと堪能しながら、なつかしい先生、同窓生との楽しい一時を過ごしました。

来年、再来年も沢山の同窓生が笑顔で再会出来ることを願いながら第49回紫友会総会は盛会にて終了しました。

●総会議決内容

- ◎第一号議案
平成27年度活動報告及び
平成28年度活動予定
報告:会則の表記の変更
- ◎第二号議案
平成27年度会計報告及び
平成28年度予算

☆協力費及び奨学金・奨励金基金協力をお願い☆

紫友会では毎年、協力費(同窓会活動運営費)及び奨学金・奨励金基金(在学生支援の一環)への協力金としていずれも1口1,000円(何口でも可)をお願いしております。これらは同窓会としての安定した会の運営や在学生支援の為に大いに活用されております。ぜひとも皆様方のお力添えを賜りたく、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

協力費及び奨学金・奨励金基金協力は

次の2通りの方法で随時受け付けております。

①同封の振替用紙にて郵便振替

他銀行からのお振込の場合⇒金融機関名:ゆうちょ銀行

店名:一七九(イチナナキュウ) 店番:179

預金種目:当座預金 口座番号:0044769

加入者名:筑紫女学園大学同窓会紫友会

②総会会場又は紫友会事務局にて受付
前回ご協力いただいた皆様に紙上をもってお礼申し上げます。なお、電話によるご協力の依頼は行っていません。

※6面に関連記事

■平成28年度 紫友会奨学金・奨励金給付

【奨学金】 3名

【奨励金】

- フィルハーモニー管弦楽団
- バレーボール部
- ラクロス部 ●弓道部

■同窓会をしませんか

総会に併せて、クラス会やサークルのOG会、ゼミ同期会などを開きませんか?紙面を利用して呼びかけるなど、紫友会事務局がお手伝い致します。ご活用頂き、紫友会会員相互の親睦が深まることを期待しています。ご希望がありましたら、事務局までご相談ください。

■当番幹事について

平成30年、第51回紫友会総会の当番幹事は下記の方々です。

- 1997年卒 短大31回生
大学 6回生
- 2017年卒 大学文学部26回生
〃 人間科学部3回生
大学院9期生

●2018年卒 新卒幹事
事務局よりご案内のハガキを送付致しますので幹事会にご出席頂きますようお願い致します。

■【筑紫女学園報】送付について

学園発行の学園報は大学だけでなく、学園全体の様子をお伝えしているものです。紫友会では学園報を希望される方にお配りしたいと思います。角2封筒(33×24cm 位)に送付先の郵便番号・住所・お名前をご記入の上、140円切手を貼って、紫友会事務局までご送付下さい。最新号をお送り致します。

又は学園ホームページでもご覧頂けます。

<http://www.chikushi.ac.jp/gakuenhou/>

■役員紹介(平成28年度)

会長 石川 昭子 家政 2
副会長 伊佐 元子 家政 1
〃 武田 陽子 幼教 28
会計 仲野 抄子 国文2、日文21
〃 山川 有希 英語 19
書記 酒井由美子 心理 15
常任幹事 加藤 千代 家政 2
〃 森山 クミ子 家政 2
〃 阿部 美樹 家政 30
〃 土谷裕紀子 英語 23
〃 矢幡 聡子 家政 24
〃 安田 香織 家政 20
会計監査 藤尾 知子 家政 13
〃 鈴木 萌子 メディア24

お 願 い

卒業時の住所データ及び返信葉書に書かれた住所が紫友会送の資料となります。個人情報同窓会活動以外では使用致しません。紫友の届かない同窓生をご存知の方は、事務局までお知らせ頂きますようお願い致します。

なお、名簿の管理には充分慎重を期しております。紫友会事務局以外から同窓生へ連絡することはありませんので、くれぐれもご注意ください。



紫友会から在学生へ

～「就職情報誌 **avenir**」贈呈～

紫友会では、在学生への支援活動の一つとして、冊子「avenir」を、毎年発行しています。これから就職活動控えた大学3年生全員に配布されます。

就職試験を終えた先輩方しか分からない貴重な情報を、これから就職活動を行う後輩たちのためにまとめた生の体験記となっています。



平成28年11月6日(日)保護者も参加しての就職ガイダンスにて

業種別採用試験の報告書や過去5年間の就職先一覧など、盛りだくさんの内容は、今年も学生の就職活動に大いに活用されています。

紫友会会計報告

——平成27年度決算[一般会計]——

自:平成27年4月1日 至:平成28年3月31日

摘 要	
【収入の部】	決算額
前年度繰越金	26,389,763
入会会費 (10,000×734名)	7,340,000
協力費 (193件)	532,000
預金利息	5,058
雑収入	349,000
合 計	34,615,821
【支出の部】	決算額
総会費	1,048,527
印刷製本費	1,068,092
通信費	1,792,108
支払手数料	37,728
会議費	382,118
事務経費	1,829,250
アルバム代	16,000
入学記念品費	264,600
備品費	18,820
慶弔費	373,200
消耗品費	29,118
雑費	34,818
奨学金基金へ繰出	1,000,000
特別会計へ繰出 (同窓50周年積立金)	1,000,000
特別会計へ繰出 (母校支援)	1,000,000
次年度繰越金	24,721,442
合 計	34,615,821

——平成27年度決算[特別会計]——

自:平成27年4月1日 至:平成28年3月31日

摘 要	
【収入の部】	決算額
前年度繰越金	7,309,471
一般会計より繰入 (同窓50周年積立金)	1,000,000
一般会計より繰入 (母校支援)	1,000,000
預金利息	1,367
合 計	9,310,838
【支出の部】	決算額
在学生支援 (就職活動)	972,162
次年度繰越金	8,338,676
合 計	9,310,838

——平成27年度決算[奨学金・奨励金基金]——

自:平成27年4月1日 至:平成28年3月31日

摘 要	
【収入の部】	決算額
前年度繰越金	12,289,304
一般会計より繰入	1,000,000
奨学金・奨励金基金 (114件)	302,000
預金利息	2,293
合 計	13,593,597
【支出の部】	決算額
紫友会奨学金・奨励金給付	800,810
次年度繰越金	12,792,787
合 計	13,593,597



筑紫女学園のあゆみ

校歌

水月文英 作詞
高島孝典 作曲

自律 和平 感恩

水月文英 筆

一仰ふ山の太休
高嶺の月に誘はれ
歩みぞしづか
曇らぬ道に
なほや進まん
二毛の奥のいそ井に
望東のつを再び
清き水をそそぐ
なほの春は
永久にいつ

(明治四十年) 五月十三日 私立筑紫高等女学校 開校 (福岡市中央区警固)	一九〇七年 小学校令改正 義務教育六年制実施
(昭和二十二年) 筑紫女子中学校 開校 新制中学校新設による	一九四七年 女性参政権 初の女性議員誕生
(昭和二十三年) 筑紫女子高等学校 開校 (新制高等学校新設による)	一九四八年 国際連合 世界人権宣言採択 第三回国民体育大会 福岡国体開催

くずし字学習のすすめ

■文学部・日本語・日本文学科
准教授 安永 美恵 先生

短大国文科や大学日本語・日本文学科では、江戸期以前の文字を読むためにくずし字を学ぶ機会があったと思いますが、その後お役にたっているでしょうか。或いは、習ったことはなくとも、博物館等で古い文字に興味を持つ方も多いのではないのでしょうか。そのくずし字を独学自習できるアプリが、近年、開発提供されています(「KEN」等)。理系、文系、国内外問わず、幅広く利用されているそうです。入門的な学びだと捉えられがちですが、実は、過去に学ぶ学問の中



心を支える重要な学びと言えるものです。すでに国会図書館のデジタルライブラリ公開や国宝のデジタル画像提供も行われており、更に多くの古典籍が電子画像として公開される事業も進んでいます。文化への興味を持たれている卒業生の皆さん、これで自由に古典籍を読んでみませんか。いつからでも、いつまでも学べるくずし字の楽しさを、若い世代の方にも伝えて頂ければ、過去の文化の蓄積が風化することも防げるかもしれません。願いを込めて。

学びと出逢い

■文学部・英語学科
教授 大城 房美 先生



学びは出逢いを連れてくる、と私は思います。自分が知らないことを知る瞬間は他者との出逢いと繋がっていると思うのです。様々な出逢いを礎に、私たちは自分自身の考えを生み出してゆきます。ひとりひとりの学びは、巨大な織物のようにたえず未来へと繋がる知識の流れを編んでゆく、そんなふうに私には思えます。



学びと出逢い

■文学部・アジア文化学科
教授 石 其琳 先生



私は筑女のアジア文化学科に在職して二十余年になりました。学科設立当初、アジア地域に対して一般的な関心は決して高くはなく、現在に至っては福岡市だけを見ても、年間の観光客数が市の人口を越えて二〇〇万人台にあがっています。観光客は中国・台湾、韓国を始め、東南アジア地域へと広まっています。それに伴い、卒業生は大学で学んだ中国語の能力

を発揮できる仕事に従事する実例も増加しています。社会的意識が変化を見せ、今日では日常生活の場でも、広い地域のアジアの人々と身近に出会い、交流するチャンスが確実に増加しているのです。中国少数民族や世界華文学の研究に関連して、長年私は中国全土を始めアジア地域の現地調査を行いました。その過程で深く記憶に残るのは、各地で多数の人々との出会いから得られた貴重な経験と感動でした。そして授業で若い世代に人や異文化理解の重要さを、今後も語り続けていきたいと思っています。



(昭和二十六年) 学校法人筑紫女学園 設立認可 筑紫女学園高等学校・筑紫女学園中学校に名称変更 (昭和二十三年)	一九五六年 ユネスコに加盟
(昭和四十年) 筑紫女学園短期大学 開学 (福岡市南区高宮) 国文科、英文科、家政科 (昭和四十四年)	一九六四年 東京オリンピック開催 一九六五年
(昭和五十年) 短期大学幼児教育科 開設 短期大学 移転 (太宰府市) (昭和六十二年) 短期大学 新築落成 (昭和六十二年)	一九六五年 アポロ11号月面着陸 一九七五年 文部省 学制百年記念式典開催 福岡市政令指定都市へ昇格 博多まで開通 山陽新幹線 博多まで開通
(平成十一年) 大学文学部アジア文化学科、人間福祉学科 開設 短期大学家政科を生活学科に名称変更 (平成十四年) 大学文学部発達臨床心理学科 開設 (平成十七年) 大学文学部英語メディア学科 開設 筑紫女学園短期大学部に名称変更 短期大学部現代教養学科 開設 筑紫女学園短期大学部附属幼稚園に名称変更 (平成十九年) 筑紫女学園大学大学院 開設 人間科学研究科・人間科学専攻修士課程 学園創立一〇〇周年 (平成二十三年) 大学人間科学部人間科学科 開設 人間関係専攻、人間形成専攻 (平成二十七年) 大学現代社会学部現代社会学科 開設 (平成二十八年) 短期大学部 閉学 筑紫女学園大学附属幼稚園に名称変更 (平成二十九年) 学園創立一〇〇周年	一九九九年 男女共同参画社会 基本法成立 ユーロ導入 完全学校週五日制実施 二〇〇一年 九州国立博物館開館 郵政民営化 二〇〇七年 東日本大震災 九州新幹線全線開通 二〇一一年 熊本地震 二〇一六年 二〇一七年 平成二十八年六月 贈 筑紫女学園大学同窓会 紫友会

女性がもつ静かな力

■人間科学部・人間科学科人間関係専攻
教授 西原 尚之 先生



女だからとか男だからとか性差による違いを語ることに興味はない。しかし近ごろ女性がもつ静かな力を感じることもある。筑紫女学園大学はその名のとおり在生も同窓生もすべて女性である。にもかかわらず学園を運営している理事会、大学を運営している執行部会議のトップは常に男性(おじさん)である。一男性は年をとって精力、筋力が衰えていくにし

たがい逆に権力欲と名誉欲が強くなっていく」という言葉のある有名な精神科医が残した。トップが自制することなく、手に入れた権力をほしいままに使ったときにその組織は危機にさらされることになる。現在(原稿執筆時)筑紫女学園は危機の最中にある。これも一部のおじさんによる権力や名誉への執着心がつくりだした結果である。しかし過去にも同じような出来事があったと聞く。そのときは同窓会が立ちあがり混乱を収めたとも聞いている。女性のもつ静かな力がおじさんの権力欲を鎮めたという歴史である。今回も紫友会が再び立ちあがってくれた。静かな力に深く感謝したい。

出会いに感謝!

■人間科学部人間科学科人間形成専攻
准教授 北原 幸子 先生



六年前に、本学に赴任して、「自律・和平・感恩」という建学の精神に再び出合った。実は、高校時代の三年間本学園で学び、日々親鸞聖人の教えに触れて学んだ私である。

本当に有難い縁であると感じる気持ちで毎日を過ごしている。「採用試験でのピアノの初見のポイントを教えてください。」「小学校と幼稚園のどちらが自分に

大学の先生としての出逢い

■現代社会学部・現代社会学科
教授 佐々木 浩 先生



一九九〇年に短大の非常勤講師として筑紫女学園で勤め始めましたので、もう二十七年も教員生活を送ってきたことになります。人生の半分近くにもなるこの長い年月の間に、多くの学生さんにお会いしました。卒業生の中には二十年以上前賀状を交換している方やFacebookの友達もいます。百年の伝統や建学の精神がもたらしてくれるものなのでしょう、筑女の

合っているか悩んでいます。」等々、学生の相談にのり、私のアドバイスが進路の選択や生き方への道筋になっているのかと自問しながら、少しでも役に立ちたいと思う。指導する中で、学生たちの発想や考え方等、学ぶことも多い。学生一人ひとりが持っている長所や可能性を引き出し、磨きをかけて、自立し、社会に貢献できる人へと育てることが責務であると痛感している。



学生さんは氣立が良く、沢山の楽しい出逢いが今も続いています。学生さんには、頑張って生きていけよと応援したい気持ちで一杯です。最近では、朝の犬の散歩の途中で出会う小、中学生にも心の中で同じように応援しています。教員は学生の応援をすることが仕事ですので、年月を経ても「教員」になれたのかも知れません。しかし、学生さんと出逢っても、卒業で離れてしまいます。卒業がお別れとならないよう、たまには大学に顔を出してもらいたいと思います。顔を忘れてしまっているかもしれません。速感なくご来校下さい。まだ、カワウソを追かれていますよ。

【筑紫女学園のあゆみ】寄贈

紫友会では短期大学50周年及び学園創立110周年の記念事業として、「筑紫女学園のあゆみ」(母校沿革)のパネルを学園へ寄贈いたしました。

明治40年の高等女学校開校から今日までの、本校の110年の歴史を、世の中の主な出来事と併せて振り返ることができます。(上記)大学へお越しの際には、会員の皆様にもぜひご覧頂ければと思います。



「筑紫女学園のあゆみ」パネル
(大学・飛翔会館1F中央階段裏側)

思い立ったら吉日

■文学部・英語メディア学科
二十回生(二〇三年卒) 林 里穂



卒業して早くも、四年。あの頃の私から、だいぶんオトナになった。「新人社員です。」って言えなくなつたし、給料と同じ額の責任が伴うようになった。学生だった自分を思い返すともっと勉強しとけばよかったと後悔している。バイトや恋が本業になつて、勉学に集中できなかった自分のツケが回ってきたのかもなんて感じる場面が多々ある。でも最近はその割りを



いつしか五〇年

■短期大学・国文科
一回生(二六〇八年卒) 今長谷 久手木



学園生活は楽しいものでした。各科の先生の教室に自由に入出入りさせて頂き、いつも華やかで明るい教室ばかりでした。先生方も開放的で学生の勝手な持論も笑みを持って聞いて下さっていました。有難さが身に沁みます。私の在学中は高宮で周りには何もなくて少々の賑やかさでも気兼ねな過ぎたものです。それから五〇年、短大が無くなったとは残念ですがスツパアップ。何よりも喜ばしいこと。一紫友も五〇年、当時少しお手伝いさせて頂きましたが手探りの日々で、高校生感覚で

学びと出逢い

■文学部・アジア文化学科
二十回生(二〇年卒) 田口 さおり天塚



私が筑女へ入学するきっかけとなったのは姉の存在でした。姉がアジア文化学科で学ぶ姿を見て、全く興味の無かったアジアについて知りたいたいと思い、入学しました。大学では、アジアについてほとんど知識が無く、多少偏見すら抱いていた私は、数え切れない程の真実と経験を得ることが出来ました。特に卒論執筆の際に、同じゼミの友人と実際に現地へ行き、文化に



「学びと出逢い」一〇周年を過ぎて

■短期大学・幼児教育科
八回生(二九七四年卒) 林 伸子渡辺



短大幼児教育科を卒業して、十二年が経ちました。この間、一貫して幼児教育に関わりを持つことができ、現在は「松島りすの森保育園」の園長をしています。毎日の保育に忙ししていますが、大切にしていく保育方針のひとつは本学の授業でヒントを得たものです。それは「実物に触れる、実践すること」です。本学の美術や工

学びと出逢い、語学留学を経て

■文学部・発達臨床心理学科
二十回生(二〇二年卒) 飯田 洋子



私は高校、大学と筑女で学び、大学では心理学を専攻しました。卒業後は保育士として働いた後カナダで国際的な感覚を身に付け、自分の視野を広げたいと思い、一年間語学留学をしました。カナダではホームステイをしながら語学学校に通い、ボランティアやアルバイト、市民オーケストラに参加するなど多くの経験をしました。二年を通して多くの海外の方々と出逢い、他国の

文化に触れ日本との違いに驚き、世界の広さを感じると共に、日本独自の素晴らしい文化に気付くことができました。今まで両親に頼っていた私が、カナダでは何事も自分で決断し、行動することで責任感や自立心を持つようになりまし

紫友36号“こんにちは”の原稿を募集します。

次号のテーマは「これぞ、筑女魂!」を予定しています。原稿は400字程度。また、皆様の近況や思い出等お寄せ下さい。(写真やイラストも可)寄せられた原稿は原則として、返却しません。紙面都合上、全てを掲載できない場合もありますので、ご了承下さい。(メ切平成29年12月末日)



安部 哲子 先生	平成27年11月	英文科 助教授
(元短期大学)		
河野 惺 先生	平成28年11月	幼児教育科 教授
(元短期大学)		
井浦 順爾 先生	平成29年1月	(元本学園理事長(元理事・評議員)、元本学園中学校・高等学校校長)
上野 雅正 先生	平成29年2月	教諭、元短期大学 家政科 教授
(元高等学校)		

筑紫女学園短期大学
五十年の集い

現代社会学科教授、
(元)短期大学部長
速水 良晃



「絶えることなく」筑女の教え「短大から大学・大学院へ」というフレーズで短大の幕引きを終えて、ほぼ一年が経ちました。一九六五年開学以来、短大からは多数の有能な女性が巣立ち、指導的立場で活躍していらっしゃいます。幕引きそのものは残念なことですが、短大の底力があつたからこそ、緩和される前の厳しい設置基準をクリアして大学を開設することができたという経緯を新しい方々にもご理解いただく機会にできたいと思います。

当初は紫友会総会開催日の企画に「筑紫女学園短期大学五〇年の集い」短大から大学へ」という式典を入れていただくとい



集いの中で、二・三年間と四年間という教育期間の違いはあつても、それぞれ最高の教育態勢を執ってきたこと、既に約三〇年近く短大と大学が一体となつて筑紫女学園を支えてきていること、短大での筑紫女学園としての教育の在り方は大学の中で生き続けていることを述べました。

最近、侵略的外来種による問題が大きくなっていますが、これまでの学園の誇りを汚さないよう、無害化していくつもりです。

謹んで震災のお見舞いを申し上げます

「平成28年熊本地震」の犠牲者の方々に謹んで哀悼の意を表し心からお悔やみ申し上げます。

また、被災者全ての方々にお見舞い申し上げます。大学では、地震発生と同時に東日本ボランティアに参加した学生たちから支援活動の声が上がりました。その活動に対し紫友会では、在学生支援の一環として50万円を学生ボランティアのために寄付いたしました。

また、昨年の紫友会総会では、受付に募金箱を設置し卒業生、現旧教職員の皆様方に義援金を募らせていただきました。ご支援をいただきました皆様方に深く御礼申し上げます。

学生ボランティアの主な活動としては、太宰府での募金活動や支援物資の仕分け作業、現地を訪問しての炊き出しや喫茶、足湯等の活動を行いました。5月、6月、9月の各月2回



炊き出し活動を行う学生ボランティア

の計6回、延べ102名の学生たちが現地を訪問し支援活動を行ってきました。

なお、被災した学生の被害状況に応じて学園としては奨学金、大学としては見舞金を贈りました。

一日も早い復興を心より念じ申し上げます。

声 声 声

◆アメリカ・ウイスコンシン州オークレアに住んでいます。熊本地震の報道を見て心配しています。みな様大丈夫でしたか。

大学英専科十四回生(二〇五年卒)

◆先日高宮校舎跡地の横を通りました。まわりの風景もすっかり様変わりしていましたが、通学していた当時のことが、とても懐かしく思い出されました。

短大英専科十四回生(二〇五年卒)

◆大阪の住吉大社に行く機会を得ました。ふと見つけた境内の片隅の西鶴の句碑。ここがあの矢数興行の場であつたかとたちまち橘先生の授業シーンに引戻され静かな感動を覚えました。昨今、関西で過ごす事が多く、学生時代に学んだ文学のその地に立つ、という喜びを多く味わっています。

短大国文科十四回生(二九八〇年卒)

◆卒業した後、母校へ関わることはない生活ですが、母校がこの時代に無くなることなく歴史を刻んで続いていることをありがたく思います。いつか総会等で同級生とたくさん会えるような日がくるのいいなと思います。

短大国文科十九回生(二九八五年卒)

◆第一期生としては非常に感慨深いものがあります。高宮校舎にて学ばせて頂きました二年間は、私の人生の中で最高に輝いています。生涯の友も得ました。何よりの宝です。筑紫女学園の卒業生であることをいつも誇りに思っております。

短大英専科十四回生(二九八〇年卒)

◆「紫友」楽しく読ませて頂きました。皆さん幸せそうなお写真と、お言葉、色々な人生。筑女での時間はとても大切な通過地点だったと思います。私

短大英専科十四回生(二九八〇年卒)

◆母校の発展を耳にするたびに誇りに感じています。現在キャリアアカウンセラIをしており先日天神の筑紫女学園大学のキャリアセンターでグループディスカッションの支援をさせていただきました。明るく感じのよい学生さんたちの就活の成功をお祈りします。

短大幼児教育科十四回生(二九七五年卒)

◆登下校中の筑女生を見かけると心の中でエールを送ってしまいます。これから社会に羽ばたいていかれるであろう学生さんの姿、とても頼もしいですね。

短大幼児教育科十四回生(二九七五年卒)

◆五十年をお祝い申し上げます。卒業以来初めて参加します。短大で学んだ。家政学。は今も暮らしに役立っています。よい暮らしに仕事にも十分役立ちました。※今も、現役のライターです。

短大家政科十回生(二九七七年卒)

◆学園創立百十周年、短期大学開学五十年をお祝い申し上げます。短大部の閉学は卒業生として淋しくもあります。が、時代と共に移り変わり行くものだと感じます。大学・大学院の今後のご発展を心より願っております。

短大家政科十回生(二九七七年卒)

◆いつも紫友が届くと一気には太宰府の景色が目に見えます。

短大家政科十回生(二九八二年卒)

◆早いもので私も六十一才になりました。しかし四十年前に学んだことは今もしっかりと私の生き方の基礎になっています。又、私の授業は時々口ずさむことも出来る程に根をはついています。

短大家政科十回生(二九七五年卒)

◆母校の発展を耳にするたびに誇りに感じています。現在キャリアアカウンセラIをしており先日天神の筑紫女学園大学のキャリアセンターでグループディスカッションの支援をさせていただきました。明るく感じのよい学生さんたちの就活の成功をお祈りします。

短大幼児教育科十四回生(二九七五年卒)

◆登下校中の筑女生を見かけると心の中でエールを送ってしまいます。これから社会に羽ばたいていかれるであろう学生さんの姿、とても頼もしいですね。

短大幼児教育科十四回生(二九七五年卒)

学園だより

学園ホームページ<http://www.chikushi.ac.jp>

図書館課

図書館ホームページアドレス
<http://www.lib.chikushi-u.ac.jp/>

卒業生の皆様も図書館の本の利用ができます。
「図書館利用者証」を発行しますので、身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をご持参ください。
なお、開館日・利用時間は**本学図書館ホームページカレンダーにてご確認ください。**

■開館日・利用時間・【原則】平 日 9:00～19:30
土曜日 9:00～14:00(原則第2・4土曜)
※学校行事や定期試験・休暇中など開館日・開館時間が変更になることがあります。
※来館前にお問い合わせ・お確かめのうえお越しください。

■利用者証発行手数料・400円(4年間有効)
※1号館1階の証紙売場にて証紙をお買い求めの上、8号館図書館カウンターで手続きください。

■貸出冊数・貸出期間・3冊以内 (15日間)

教務課

【お問い合わせ先】教務課 TEL092(925)3514

卒業証明書・成績証明書等の申込みを受け付けています。申込みの詳細は本学園ホームページ「卒業生の方へ」にてご案内しています。

※学力に関する証明書など特別な証明書は発行に2週間程度かかります。早めのお問い合わせをお願いします。

※夏季休業:8月11日(金)～16日(水)
※年末受付:～12月27日(水)
※年始受付:1月9日(火)～

実習支援センター

●教員免許状更新講習のご案内

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員を対象とした講習を実施しています。詳細は、6月頃本学園ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

●大震災の被災地における学生ボランティア活動についてのお願い(東日本・ネパール・熊本)

実習支援センターでは、関係部署と連携しながら東日本やネパール、熊本の被災地における学生のボランティア活動に係る支援を行っています。

東日本:平成24年から18回、延べ200名を超える学生が活動に参加しています。福島県での活動も開始し、梅ヶ枝餅等の提供や現地の被災者や子ども達との交流会等を実施しています。

ネパール:平成27年から3回、30名程度の学生が訪問し、子ども達に文房具配付や校舎再建[ラムサハ高校:オープニングセレモニーも終了し間もなく完成]等の教育支援活動をしています。

熊 本:平成28年の地震発生直後から支援を開始し、延べ100名を超える学生が被災地を訪問して炊き出しや喫茶、足湯等の支援を行っています。

今後も継続して活動していきますので、同窓生からの温かきご支援を何卒よろしくお願いします。なお、詳細につきましては本学ホームページに掲載していますので、一度、ご覧ください。

【東日本 梅ヶ枝餅提供】

【ネパール 校舎再建起工式】

【熊本 炊き出し準備】

【お問い合わせ先】実習支援センター TEL092(925)9578
※お振込みの前に上記問い合わせ先にご一報いただくと幸いです

卒業生のための学びのかたち

●大学院 人間科学研究科 人間科学専攻 修士課程(男女共修)

時代が求める総合力 一高度な知識と実践的応用力の育成

※卒業生だけの優遇制度※

- 短期大学卒業者も卒業後、2年以上の社会経験がある方は、出願可能です。学びを深めるチャンスが広がります。
- 本学卒業生(大学・短期大学部)には、大学院の入学金相当額を給付します。経済的な負担を軽減できます。(筑紫女学園大学大学院進学奨励金)

●社会人特別入学試験

学ぶ意欲のある社会人を受け入れる制度です。正規学生として深く専門的に学びたいという気持ちに応えます。

●編入学試験

短期大学・大学を卒業された方等を対象とし、3年次に編入学する制度です。

※出願はインターネットで受け付けております。
入試要項等は本学ホームページにてご確認ください。
【お問い合わせ先】入試課 TEL 092(925)3591

●科目等履修生・聴講生受け入れ制度

興味のある科目を受講し、単位認定される「科目等履修生制度」、単位の修得を希望しない「聴講生制度」があります。生涯学習の場として、学び気持ちを支援します。

【お問い合わせ先】教務課 TEL 092(925)3514

●仏教専修課程・浄土真宗本願寺派教師(住職)資格課程

福祉・家族いのちの問題について考えたい、仏教の思想・文化・美術に関心がある方のために「仏教専修課程」を設けています。さらに「浄土真宗本願寺派教師(住職)資格課程」を履修されると、教師教修所への入所資格が得られます。

【お問い合わせ先】学生課 TEL092(925)3515

社会に出て新たに学びたい、改めて学びたいという気持ちにお応えしたいと思っています。ぜひお問い合わせください。

進路支援課

天神キャリアセンター

●卒業生の再就職やキャリア形成をサポートするため、様々な支援を実施しています。

- ・再就職を希望する卒業生の求職登録
- ・求職登録者に対する就職情報の配信
- ・臨床心理士による就職・キャリアに関する面談
- ・既卒者に対する求人情報の収集
- ・OGによる座談会や情報交換会の開催

【場 所】福岡市中央区天神1-15-6
綾杉ビル7階(アクロス福岡前)

【業務時間】月曜日～金曜日 10時～18時(祝休日を除く)

【お問い合わせ先】天神キャリアセンター TEL092(715)0340

☆主な内定先 (平成28年度 順不同)		
●一般企業		
三井住友銀行	明治安田生命保険	電通九州
みずほフィナンシャルグループ	日本生命保険	三菱電機ロジスティクス
三菱東京UFJ銀行	東京海上日動火災保険	イオン九州
あおぞら銀行	日本郵便	イズミ
福岡銀行	九州旅客鉄道	岩田屋三越
西日本シティ銀行	西日本鉄道	博多大丸
筑邦銀行	全日本空輸	阪神阪急百貨店
宮崎銀行	日本航空	正見
福岡中央銀行	ジェイエア	西原商会
宮崎太陽銀行	フジトリームエアライン	ユーシーシーフーズ
商工組合中央金庫	ソラシドエア	朝日スチール工業
日本郵政	ANA福岡空港	新潟原動機
福岡信用金庫	ANA大阪空港	GSユアサ
筑後信用金庫	JALスカイ	デル
九州ひぜん信用金庫	JALスカイ九州	九電テクノサービス
みずほ証券	エイチ・アイ・エス	日の出水道機器
野村證券㈱	JR九州ホテルズ	ワコール
東海東京証券	マイナビ	アイ・ケー・ケー

●教員・公務員		
福岡県小学校教員	横浜市小学校教員	福岡県特別支援学校教員
福岡市小学校教員	沖縄県小学校教員	福岡県職員
京都市小学校教員	福岡県中等学校教員(国語)	篠栗町役場職員
東京都小学校教員	福岡県中等学校教員(英語)	上峰町役場職員

●医療・福祉関係		
メディカル・ケア・サービス	清心慈愛園	セントケア九州
年長者の里	幸府福祉会	LIXILシニアライフカンパニー

●専門職(幼稚園・保育園)		
水城幼稚園	鳥栖学園	和白青松園
大野幼稚園	御笠学園	古処学園
奈良屋幼稚園	博多学園	久留米天使園
ゆりの樹幼稚園	乙金保育園	どろんこ保育園

※ほか、多数(紙面都合上、一部掲載)

学生サポートルーム ラトナを開設しました!!

昨年9月、障がい学生支援の拠点として、3号館1階に「学生サポートルーム ラトナ」を開設しました。「ラトナ」とは、サンスクリット語で「宝物」という意味です。一人ひとりを大切な宝もののような存在として認め合えるキャンパスの実現を願って、名づけられました。

「学生サポートルーム ラトナ」は、学習支援センターの分室で合理的配慮の申請や、障がいの有無に関わらず様々な悩みや相談ごとを抱える学生の相談・支援窓口です。保健室、学生相談室と隣接しており、より一層連携した支援が行えるようになっています。また、「ラトナ」は、休憩、学習、学生サポート活動、教職員との交流の場にもなっています。

本学では、学内全体に障がいに対する理解を深め、互いに尊重し、成長し合う支援を目指しています。

紫友会学生支援奨学金・奨励金基金へのご協力のお願い

紫友会学生支援奨励金を4団体へ授与

平成十八年度に紫友会学生支援奨学金・奨励金制度が発足されて以来、奨学金は延べ二十七名の学生に、奨励金は延べ二十五件の団体に授与することができました。これもひとえに皆様からのご協力の賜物と感謝申し上げます。なお、平成二十八年度は、奨学金を二名に、奨励金を「フィルハーモニー管弦楽団」「バレーボール部」「ラクロス部」「弓道部」の四団体に授与しました。今後も在学支援の一環として学生支援奨学金・奨励金制度で支援を必要とする学生に援助が出来ればと願っております。会員の皆様には引き続き奨学金・奨励金基金充実の為に、ご支援・協力を賜りますようお願い申し上げます。同封の振込用紙「奨学金・奨励金基金」の項目に○印をつけ、郵便振替にて送金下さい。

～フィルハーモニー管弦楽団～
「絆で戦う」というチームの目標をたて、部員一同練習に励んでいます。必ず2部に昇格できるような頑張ります。

～バレーボール部～
「絆で戦う」というチームの目標をたて、部員一同練習に励んでいます。必ず2部に昇格できるような頑張ります。

平成28年6月(前期)後列向かって左2名「フィルハーモニー管弦楽団」代表、右2名「バレーボール部」代表

～ラクロス部～
部員が年々増加し、現在は約40名という大人数で活動しています。週4回の練習の他、対外試合等活発な活動を行っています。

平成28年12月(後期)後列向かって左「弓道部」代表、右「ラクロス部」代表

平成28年6月及び12月に紫友会奨励金の授与式が紫友会室にて執り行われました。

この奨励金はクラブ、サークル活動、ボランティア活動など自主的な活動において高い目標、計画を持ち積極的に活動、実現している団体、個人を援助することを目的としています。

大学クラブ訪問 バスケットボール部

女子バスケットボール部は少ない人数の中、二年生六名、一年生四名、計十名で月曜日・火曜日・水曜日の週三回、放課後に体育館で練習を行っています。練習メニューも自分たちで考え、楽しく、一生懸命練習しています。大変で辛い時もありますが、それを乗り越えようと達成感や楽しさを辛さ以上に感じることが出来ます。いろいろな面で個性派揃いのバスケットボール部ですが、団結力はそのチームにも負けません。個々のレベルを上げるとともにチーム力の底上げをして頑張っています。練習時間は約一時間と決して長くはありませんが集中した中身の濃い練習をしています。試合で勝つためには、今以上の練習が必要とす。普段の練習から今の自分より上へという目標を持ち、技術的にも精神的にも成長したいと思っています。私たちの目標である「まず一勝」を目指して、みんなで助け合いながら頑張っていきたいです。また、強い弱いに問わず、気持ちの良いチーム、誰からも応援してもらええるチーム、最後の一秒まで諦めず全力を尽くすそんなチームであり続けたいと思います。これからも応援よろしくお願いします。

藤田 沙樹

第一生命保険株式会社九州コンサルティング営業室

職域訪問 同窓生へ一言

今春、私は第一生命人生四年目を迎えます。私の所属するコンサルティング営業室では、主に大手民間企業で保険営業をメインとし、職域活動しています。今の日本では、社会保障制度のスリム化が進んでおり、生命保険での自助努力が必要とされています。ライフサイクルは人それぞれ異なりますので、一人ひとりに面談し、家族構成や必要保障額を算出の上で、その方に合った保険をコンサティングするのが主な仕事です。私自身、病気や怪我で苦しんでいるお客様を治療して差し上げることができませんが、「生命保険」という形で

最高の治療を受けていただき、また元気に生きていくお手伝いをさせていただける事が、この仕事のやりがいだと思っています。これからも、第生命のカラーガンでもある「生涯のパートナー」として、一人ひとりのお客様に寄り添い、守っていきよう、また、仕事を通じて輝く女性となることが、今の目標です。沢山の人の関わりをもち、これからも更に成長出来るよう頑張ります。

写真向かって左から:入江理恵(旧姓酒井) 国文科22回生、野崎晴香 英語メディア学科24回生、矢永晶子 英語メディア学科23回生、小河佑梨子 英語メディア学科24回生、日名内京香 英語メディア学科24回生、藤田沙樹 発達臨床心理学科22回生(寄稿者本人)、原淳子(旧姓三村) 英文科16回生

2017(平成29)年度 前期 筑紫女学園大学 公開講座(受講料無料)

“ともいき(共生)”～あらゆる存在とのつながりの中で生かされていることへの目覚め～

講座名	講師等	日時	講座名	講師等	日時
音楽と自然によるともいき～ガムラン・ワークショップと“筑女の森”自然観察～	田村 史子(文学部准教授) 田中 一男(地域環境計画九州支社) サプトノ(インドネシア、ジャワ、スロカルト王家ガムラン楽長) 主催:アジア文化学科	① 4月29日(土) ② 6月25日(日) 10:00～15:30 (12:00～13:30休講)	第20回 仏教文化講座「教行信証」に学ぶ①教巻一貫実の教えとはなにかー ②行巻一名を称えることー ③金見 倫吾(本学非常勤講師) ④宇治 和貴(人間科学部准教授) ⑤栗山 俊之(現代社会学部教授) 主催:仏教学研究室	① 6月 7日(水) ② 6月14日(水) ③ 6月21日(水) ④ 7月 5日(水) ⑤ 7月12日(水) 19:00～20:30	
イヌと幸せに暮らす方法入門	福島ゆき(犬のしつけインストラクター) 後藤 治(獣医師) 佐々木 浩(現代社会学部教授)	① 5月13日(土) ② 5月20日(土) 9:30～12:30 (全2回)	体験しよう!教育・保育の実際 ①動作法 ～障がい児の心理面の発達援助としてのリハビリテーション ②子どもの心をくむ ～幼児期からは小学校では? ③子どもと音楽 ～聞くこと・歌うことリズムの大切	① 8月19日(土) ② 8月26日(土) ③ 9月 2日(土) 10:00～12:00	
自立に向けて家庭と学校でできること ①幼児期・学童期 ②思春期 ③青年期	酒井 均(人間科学部教授) 共催:福岡発達障害者の会「たけのこ」 主催:人間科学科人間関係専攻	① 5月27日(土) ② 6月24日(土) ③ 7月29日(土) 10:00～12:00	日本語ライティング講座 ～伝わる書き方ー 中川 茂(元日本新聞社特別論説委員、元TBS報道番組コメンテーター、九州工業大学・福岡大学はか非常勤講師) 小野 望(文学部教授) 高山百合子(文学部教授) 主催:日本語・日本文学科	① 9月16日(土) ② 9月23日(土) ③ 9月30日(土) ④ 10月7日(土) 13:00～15:00 (全4回)	
文学と南(4) 日本文学と琉球文学ー二ホンゴとは何かー ①文学Ⅰ 記憶の言葉と「私」の文学 ②言語 「琉球語」の現在ー多様性を巡ってー ③文学Ⅱ 古代日本文学と古代沖縄文学の発想	コーディネーター:松下博文(文学部教授) ①崎山 多美(作家) ②下地賀代子(沖縄国際大学准教授) ③西表 宏(香蘭女子短期大学教授) 共催:福岡市総合図書館(福岡市文学館)	① 6月 3日(土) ② 6月10日(土) ③ 6月17日(土) 14:00～16:30	九州ユース合唱団演奏会 ～ともに生き、ともに歌う～ 松原 千振(東京混声合唱団正指揮者、元フィリピン放送室内合唱団指揮者) 今釜 亮(人間科学部講師)	9月18日(月・祝) 14:00～16:00	

■お申込み方法
ハガキ・FAX・Eメールまたは本学ホームページより
※お申し込みの際は、①受講希望講座名②氏名(フリガナ)③郵便番号④住所⑤電話番号・FAX番号をご記入ください。
※定員に達した場合は、締切りとなりますのでご了承下さい。
※お預かりした個人情報等は適切に管理し、公開講座運営以外に使用することはありません。

筑紫女学園大学 生涯学習センター

筑紫女学園大学ホームページ>>> <http://www.chikushi-u.ac.jp/>
〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1 TEL: (092)925-9665 FAX: (092)925-9319 E-mail: gakushu@chikushi-u.ac.jp